

令和4年度 教育水準の向上に向けた取り組みについての報告

学校法人駒場けやき学園
駒場幼稚園

※東京都の「私立幼稚園教育水準向上支援事業補助」により助成を受けている事業の報告です。

①幼児教育の内容・方法の改善

◎年長組の稲栽培 米作り体験

令和4年度も、年長組が米作り体験に取り組んだ。子どもたちは園庭師の指導を受けながら、代かきから田植え、観察、収穫、脱穀と籾外し、精米、試食と鏡餅作りまでの一連を、春から冬にかけて経験した。稲の苗は近隣の高校（筑波大学付属駒場高等学校）から分けてもらい、籾外しと精米も同校の協力を得て本格的な作業を見学することができた。

藁は保護者の協力を得て、12月にしめ縄作りで使用した。

収穫したもち米は2キロ余り。通常の餅つきは行わなかったが、炊いたモチ米を、年長組園児ひとりひとりが手つきで餅にしていき、米粒が餅に変わっていく様子をじっくり経験できた。

年長組の卒園前には、年中組に米作りについて申し送りをし、種籾を採るために残した稲穂の束を年中組に手渡した。

◎野菜や花の栽培

- ・園庭やテラスのプランターではパセリ、小松菜、白菜、ミニ人参などを栽培し収穫した。

野菜として十分な姿に成長しなかったため、収穫して園児が味わうことはできなかったが、園のウサギに、自分たちが作った野菜をあげる喜びを味わっていた。

- ・屋上の畑には年少組が2月にじゃがいも（種芋）を植え、次年度年中組に進級した5月～6月に収穫。

園で調理して試食する。種芋を植えた畑の変化と、地中から芋がたくさん出てくることに驚く。

- ・3学期に園内各所のプランターや園庭に、全園児が必ず一つ以上、チューリップの球根を植える。3月中旬には満開になった。園児は自分が球根を植えた場所を覚えていて、春休み中に園庭の桜と併せてお花見に来るなどした。

◎保育室のピアノ

・日常的に教師の伴奏に合わせて歌を歌うなどの他、園児もいつでもピアノを自由に使える環境にしている。遊びの中で「ピアノの発表会」ごっこや、コンサート、人形劇の効果音など園児の発想で、ピアノを弾ける人の役割を遊びの中で生かす様子がある。

◎生き物の飼育

- ・うさぎ、亀、アカハライモリ、熱帯魚、カブトムシを飼育している。

・うさぎのケージは、年度の初めは、園生活になれていない年少組の保育室の傍に置き、新入園の子どもたちの心の支えになっていたが、うさぎが高齢になってきたため、やはりストレスの心配がある。うさぎ

と子どもの様子を見ながら、1学期途中で、うさぎの扱いの上手な年長組の保育室にケージを移し世話をすることにした。年長組に、うさぎにいたわりが必要なことを伝えると、よく理解して世話をしている。年少組の子どもはうさぎに会うために年長組の保育室を訪ねて、年長組園児と関わる機会にもなっている。

・カブトムシは飼育箱の手入れのために、土を出すときに、興味のある子どももいない子どもも、幼虫の成長の様子を観察して、変化に驚いていた。成虫になった後、夏の間産卵し次の世代が成長中。

◎モンテッソーリ教材で遊ぶ時間

・月曜日の保育時間中にモンテッソーリ教師を招き、モンテッソーリ教具による活動の時間を設けている。園児の任意参加であるが、この活動を好み、積極的に参加する園児たちのために、段階の進んだ新しい教具（数や色彩、また音感の認識を深めるもの）を追加購入した。子どもたちも興味を持って取り組んでいる。

また、担当教師から保護者にモンテッソーリ教育についての説明の機会を設けたことで、保護者の理解と感心を深めていくことができた。

◎本のへや

・木曜日の保育時間中に児童文化講師を招いて「移動図書館」を開いている。園児は本を選びながら講師に絵本を読んでもらったり、読みたい本を探す相談をしたりして、選んだ本を1冊借りて、自宅に持ち帰る。コロナの対応で（地下の本のへやでの貸し出しを休止する代わりに）始めた移動図書館であるが、2階のテラスで開放的な空間であること、保育室に近く弁当後に訪れやすい条件もあり、子どもたちが楽しみにしている。

◎壁新聞の発行など

・保護者向けの壁新聞やクラスだよりに、教師が撮った保育中の写真を活用している。なるべくその日のことを遅くとも翌日には伝えられるよう、タイムリーな発信を心がけている。

園児も保護者と一緒に壁新聞の写真を見ながら、保護者に説明するなどしている。また、他の学年の写真を見ている子どもに「これは何をしているの？」と尋ねられるなどして会話が弾む。

・情報発信のためにもデジタルカメラは教師の必需品であるが、使いやすい機種についての意見が分かれ、購入が予定通りに進まなかった。

②幼児教育を担う人材の育成、専門性の向上

- ・児童文化講師から推薦された児童書についての文献を購入。職員用の貸出図書とした。
- ・保育ナビからは引き続き有意義な記事を職員間で共有している。

③家庭・地域における幼児教育の支援

・移動図書館を担当してもらっている児童文化講師に、在園保護者向けに、絵本紹介の記事を年間5回、ホームページに掲載してもらった。そこで紹介された絵本は園の図書に所蔵し、貸し出し可能としている。

④新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み

- ・父母の会が主催する講演会(20221020)や「園長おはなし会」(20220928)など、一定数の参加者が見込まれる集会についてはオンライン参加、またはそれを併用する方法をとった。
- ・同居家族の体調不良により在宅勤務をしていた職員は、会議等にオンラインで参加することができた。

以上
文責 園長 杉本 裕子